

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	江戸幕府と政治の安定		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策を手がかりに、武士による政治が安定したことを理解し、整理することができる。</li> <li>ノートや発言の内容から、江戸幕府の政治とさまざまな立場の人々の思いを関連付け、江戸幕府が世の中を安定させた方法を考え、表現することができる。</li> </ul>		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	6 年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>社会科(歴史)に興味・関心があるようで、意欲的に勉強に取り組んでいる。</li> <li>ローマ字で文章の打ち込みや検索することに時間がかかるが、ペンシルで書きこむことができる。</li> </ul>		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>iPad ・ペンシル</li> <li>テレビ</li> </ul>		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK for School</li> <li>Google classroom</li> <li>Google Jamboard</li> </ul>		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援 ) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援 )		
	ICT活用のねらい	ICT 機器の操作を理解し、必要な機能を選んで使うことができる。 江戸幕府の政治とさまざまな立場の人々の思いを関連付け、自分の考えをペンシルで書きこむことができる。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 Google classroom については、普段から、「本日の重要語句の穴埋め問題に答えを書きこみ提出する」という流れで取り組んでいるため、アプリの起動から提出までができる。更に添付の資料を開き確認したり、資料の中で調べたい言葉を検索したりすることもできる。歴史的背景や人物については、NHK for School の「歴史にドキリ」のアプリを開き、視聴することで理解を深めることができた。Google Jamboard に関しては、今回の単元から使い始めたこともあり、付箋機能を使い整理することができたが、時間を要した。また、ペンシルで書きこむ際に、うまく書きこめず授業内に終わることができなかった。しかし、ICT を活用することで、集中力を維持しながら学ぶことができた。			